

2007年3月期 第3四半期 連結決算説明会

The logo for CASIO, featuring the word "CASIO" in a bold, blue, sans-serif font with a registered trademark symbol (®) to the right.

カシオ計算機株式会社

2007年2月1日

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2007年3月期 第3四半期連結決算概況

単位：億円

連 結	06／3月期		07／3月期			
	第3四半期 4/1～12/31	通期	第3四半期 4/1～12/31	増減率	通期計画	増減率
売上高	4,173	5,803	4,468	+7.1%	6,300	+8.6%
営業利益 利益率	287 6.9%	431 7.4%	333 7.5%	+16.0%	510 8.1%	+18.3%
経常利益 利益率	255 6.1%	389 6.7%	279 6.3%	+9.4%	460 7.3%	+18.2%
当期利益 利益率	150 3.6%	237 4.1%	170 3.8%	+12.9%	275 4.4%	+15.8%

第3四半期累計売上・営業利益の概況

2005年3Q累計

2006年3Q累計

売上：4,173億→4,468億(+295億)

- ◆デジタルカメラ：+177億
- ◆時計：+65億
- ◆携帯電話：+190億
- ◆デバイス：▲125億

2005年3Q累計

2006年3Q累計

営業利益：287億→333億(+46億)

- ◆エレクトロニクス機器：+97億

利益率8.1%→9.7%(+1.6%)

・デジタルカメラと携帯電話の増収に伴う増益と利益率改善 ・基盤事業の利益率向上

- ◆デバイス・その他：▲58億

・TFTの単価下落

・カシオマイクロニクスの減益

2007年3月期 連結決算予測

単位：億円

連 結	06／3月期		07／3月期		
	第3四半期 4/1～12/31	通期	第3四半期 4/1～12/31	通期計画	増減率
売上高	4,173	5,803	4,468	6,300	+8.6%
営業利益 利益率	287 6.9%	431 7.4%	333 7.5%	510 8.1%	+18.3%
経常利益 利益率	255 6.1%	389 6.7%	279 6.3%	460 7.3%	+18.2%
当期利益 利益率	150 3.6%	237 4.1%	170 3.8%	275 4.4%	+15.8%

戦略5事業の展開1

④

◆デジタルカメラ

国内は万全、海外順調に拡大、収益性も計画上ぶれ

<第3四半期>

- ・海外販売台数→前年比+40%増
- ・ベストバイのテスト販売も好調に推移
- ・EX-Z1000:国内、海外ともに販売好調
- ・普及価格帯のEX-Z60、Z70:海外拡大に貢献

<第4四半期>

- ・新製品投入:EX-V7(世界最薄の光学7倍ズーム)、EX-Z75(普及価格帯)
- ・単価は3Qで計画以上の高水準で推移し、通期営業利益率計画比上ぶれ

◆電子辞書

国内圧倒的な高シェアキープで収益性もさらに向上

<第3四半期>

- ・国内トップシェア50%超キープ ・高利益率(16%)を維持
- ・海外市場も着実に拡大:売上比率通期15%計画線で推移

<第4四半期>

- ・国内:ラインアップを一新→ネイティブ発音機能強化+手書きパネル搭載の18機種投入
- ・中国:ネイティブ発音機能付きモデルを投入
- ・高付加価値モデル拡充で収益性向上

戦略5事業の展開2

⑤

◆時計

<第3四半期>

電波時計比率45%達成に向けて順調に推移
OCEANUSブランド強化推進

- ・OCEANUSの最上位モデル投入で百貨店など上位流通を拡大

<第4四半期>

- ・OCEANUSを主軸に高価格帯モデル(フルメタルアナログ、5局対応)の販売拡大

◆携帯電話

4Qにハイエンドの2モデル投入で高シェアキープ

<第3四半期>

- ・国内、海外ともに計画どおり推移
- ・国内は、auでシェアトップ

<第4四半期>

- ・高付加価値の新製品2モデル投入

W51CA:高画質で業界最長となる5時間30分の連続視聴を実現したスリムなワンセグケータイ

W51H:2.9インチワイド液晶、セキュリティー機能としてスマートセンサーによる指紋認証機能搭載

- ・国内で高付加価値の新製品2モデルの売上比率が高く収益性向上目指す

◆デバイス

●TFT

モバイルGPSナビ向けのボリュームアップ

<第3四半期>

- ・新規ジャンル向け顧客数も順調に拡大しているが、既存ジャンル（デジタルカメラ、携帯電話向け）の単価下落が想定以上となり、収益性回復には至っていない

<第4四半期>

- ・既存ジャンルの単価下落は継続するが、新規ジャンルの規模拡大により前年同期比増収を確保し、利益も前年4Q並みまで回復を目指す

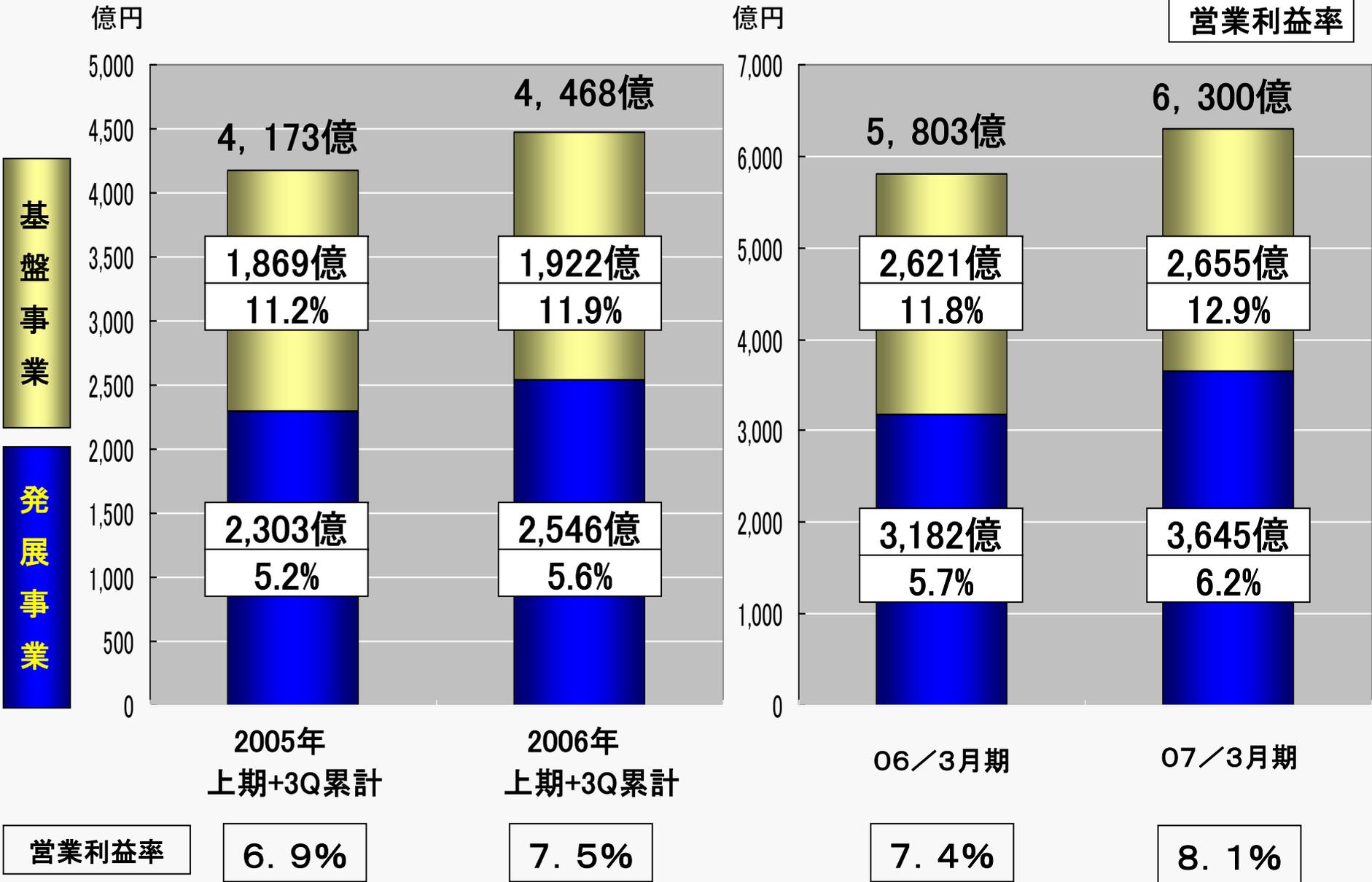
●カシオマイクロニクス

<第4四半期>

- ・COF新工場ライン稼動に向けての最終ステージへ

基盤事業と発展事業

売上
営業利益率



セグメント別売上・営業利益

<ご参考>

単位:億円

連 結	07/3期 (51期)			
	上期+第3四半期	増減率	通期	増減率
売上高				
コンシューマ	1,694	+8.8%	2,330	+9.0%
時計	578	+12.6%	780	+9.7%
MNS	1,188	+22.3%	1,710	+22.2%
情報機器	346	+4.2%	500	+2.8%
デバイス	433	▲22.5%	650	▲12.1%
その他	229	▲4.8%	330	+0.3%
合計	4,468	+7.1%	6,300	+8.6%
営業利益				
エレクトロニクス機器	370	+35.4%	575	+37.7%
デバイス・その他	1	▲99.1%	▲5	—
消去	▲37	—	▲60	—
合計	333	+16.0%	510	+18.3%

END